

新潟工科大学 原子力耐震・構造研究センター 市民公開講座 及び 施設見学会

主 催 新潟工科大学

日 時 平成24年 **11月10日(土)**
13:00~17:00

受付場所 新潟工科大学 **S1大講義室**

入場無料 事前申込制

FAX・電子メール又は電話にてお申し込みください。

新潟工科大学は、中越沖地震を踏まえ、平成22年に原子力安全基盤機構(JNES)、東京電力と協同し「原子力耐震・構造研究センター」を設置。原子力安全に係る耐震・構造等についての最先端研究を進めると共に、国際原子力機関(IAEA)等と連携し、研究成果を海外にも発信しています。

この度、研究センター活動を地域の方々に知っていただくため、市民公開講座及び施設見学会を開催いたします。見学会では、「地震・津波^{ディベーズ}に対する原子力敷地外も含む原子力防災システム(TiPEEZ)」や3000m深部地震動観測システム等を紹介し、原子力安全へのご理解の一助になれば幸いです。

公開講座 13:00~15:00 S1大講義室(同時通訳)

【公開講座講師】

スジット・サマダー氏

Sujit Samaddar

IAEA国際耐震安全センター長
IAEA耐震調査団長



講演概要

IAEAは2008年に国際耐震安全センターISSCを設置し、地震・津波等外的事象に対する安全に係わる事業(国際基準策定、加盟国安全レビュー、人材育成等)を進めています。同事業にはJNESを含む日本の各機関も参加し、国際貢献を果たしています。講演では、ISSCの活動状況、3.11地震・津波、TiPEEZについてお話します。

マルコ・ボンホフ氏

Marco Bohnhoff

ドイツ地質研究センター教授
ユネスコ・アナトリア断層調査



講演概要

国連ユネスコは地中海のエーゲ海において、アナトリア断層を対象とした深部地震動観測計画を策定中です。同計画は、ボンホフ教授を中心に進められ、新潟工科大学敷地内の3000m深部地震動観測システムの経験を活用します。講演では、計画の概要や3000m深部地震動観測システムへの期待等についてお話します。

アヤバス・ギュルピナー氏

Aybars Guerpinar

元IAEA耐震安全課長
IAEA柏崎、福島調査団員



講演概要

講師は、元IAEA耐震安全課長で、長年、IAEA耐震基準類の策定や世界の原子力施設の耐震安全レビューに携わってきました。柏崎刈羽発電所事故、福島第1発電所事故の調査団員としても参加しました。講演では、福島事故の教訓、地震・津波に対する安全の考え方等についてお話します。

施設見学会 15:00~17:00 原子力耐震・構造研究センター

【見学内容】

- 施設概要紹介
- TiPEEZ^{ディベーズ}※のデモンストレーション
- 3000m深部地震動観測システム
- 自動スクラムシステム(深部地震動観測記録を利用した制御棒挿入)
- 3次元床免震システムのデモンストレーション
- 大型振動台による構造物・設備の機能限界試験データ

- 柴田碧文庫(東京大学名誉教授柴田碧先生寄贈の耐震関連データベース)

- 新潟工科大学研究テーマ

- ・「地震時に観測された様々な情報を集約して分かりやすく伝達するシステムの確立」
- ・「構造物の経年劣化を考慮した耐震性の評価」
- ・「原子力発電所機器・配管系設計指針の高度化」

※地震・津波に対する原子力敷地外も含む原子力防災システム

新潟工科大学への アクセス

● 柏崎駅からバス利用の場合

南口 約15分 **工科大入口**

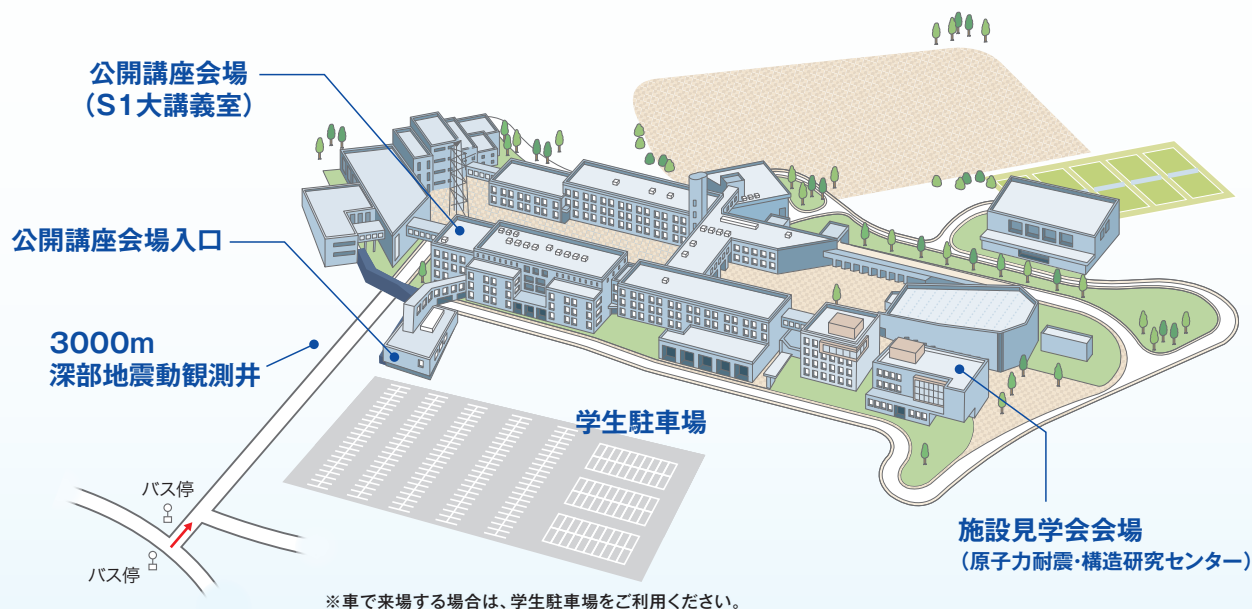
「工科大・夢の森公園・産業大・安田駅線」
工科大入口下車

駅前 約20分 **工科大入口**

「久米線」工科大入口下車



構内配置図



※車で来場する場合は、学生駐車場をご利用ください。

主 催

新潟工科大学 〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719

申込み
問合せ先

新潟工科大学 事務局
キャリア・産学交流推進課

電話:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123
Eメール:career-sangaku@adm.niit.ac.jp

入場無料 事前申込制

FAX・電子メール又は電話にてお申し込みください。

FAXの際はこちらをお使いください。

平成24年 月 日申込

お名前			参加ご希望	☐ 公開講座 (13:00~15:00)
おところ	〒 -			☐ 施設見学会 (15:00~17:00)
TEL			FAX	
E-mail				